



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月30日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東  
 コード番号 3667 URL http://www.enish.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	4,824	△0.5	294	△71.8	289	△72.3	167	△73.3
25年12月期第3四半期	4,849	-	1,045	-	1,045	-	628	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	24.23	23.16
25年12月期第3四半期	118.96	93.80

(注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を前事業年度より行っているため、平成25年度12月期第3四半期の増減率については記載していません。

2. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	3,421	3,011	88.0	434.39
25年12月期	4,022	2,994	74.4	432.82

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 3,011百万円 25年12月期 2,994百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	22.00	22.00
26年12月期	-	0.00	-	-	-
26年12月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成26年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

平成25年12月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当4円00銭

### 3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	△1.9	0	-	0	-	0	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	6,932,640株	25年12月期	6,918,720株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	-株	25年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	6,925,794株	25年12月期3Q	5,282,770株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年10月30日（木）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策への期待感から株式市場は上昇傾向、為替市場は円安傾向と一定の回復の兆しを見せ始めたものの、消費税率引き上げによる影響等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社の事業領域である、ソーシャルアプリ事業を取り巻く環境につきましては、国内ブラウザゲーム市場については成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注1）を中心に国内ソーシャルゲーム市場は今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第3四半期累計期間においては既存タイトルの売上高が落ち込み、厳しい状況で推移いたしました。運営体制の整備により、当第3四半期会計期間においては回復基調が見られております。また、平成26年5月に「ぼくのレストラン3」、平成26年6月に「パハムートクライシス」のリリースを行い、当事業年度にはさらにネイティブアプリケーションである「千年の巨神」のリリースを予定しております。

「千年の巨神」は事前登録者数が順調に増加しており、今後の収益寄与が期待されます。

また、アジア市場を中心に急速に拡大することが予測されるグローバルマーケットを背景に、国内だけでなく中国、韓国での展開を進めるために、開発・配信体制の構築に努め、グローバル展開による収益拡大を目指してまいります。

さらに、ゲーミフィケーション（注2）を活用したキャラクターアイテムの提供や0 to 0（注3）プロモーション活動も引き続き進めてまいります。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は4,824百万円（前年同四半期比0.5%の減少）、営業利益は294百万円（前年同四半期比71.8%の減少）、経常利益は289百万円（前年同四半期比72.3%の減少）、四半期純利益は167百万円（前年同四半期比73.3%の減少）となっております。

（注）1. ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。

2. ゲーミフィケーションとは、ゲーム制作でのユーザーを楽しませるノウハウをゲーム以外に用いて、ユーザーの購買意欲や満足度を高めることをいいます。

3. 0 to 0とは、Online To Offlineの略でゲームにおけるユーザーのモチベーションやロイヤリティを利用して、実店舗における購買活動に結びつけ、実店舗の集客支援につなげる仕組みをいいます。

## (2) 財政状態に関する説明

## （資産）

当第3四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて852百万円減少し、2,670百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払い、有形固定資産の取得による支出による現金及び預金の減少（前事業年度末比1,118百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて251百万円増加し、751百万円となりました。これは主に、本社の移転に伴う有形固定資産の増加（前事業年度末比125百万円の増加）、長期貸付金の増加等による投資その他の資産の増加（前事業年度末比128百万円の増加）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ600百万円減少し、3,421百万円となりました。

## （負債）

当第3四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて640百万円減少し、345百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払いによる減少（前事業年度末比419百万円の減少）、未払金の支払い等による流動負債のその他の減少（前事業年度末比185百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、前事業年度末に比べて23百万円増加し、64百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ617百万円減少し、410百万円となりました。

## （純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて16百万円増加し、3,011百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加（前事業年度末比167百万円の増加）があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少（前事業年度末比152百万円の減少）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年7月18日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

通期業績見通し（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

売上高	6,500百万円（前事業年度比1.9%の減少）
営業利益	0百万円
経常利益	0百万円
当期純利益	0百万円

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,458,501	1,339,753
売掛金	811,031	731,430
その他	253,154	598,974
流動資産合計	3,522,688	2,670,157
固定資産		
有形固定資産	121,937	247,181
無形固定資産	24,668	22,641
投資その他の資産	353,291	481,790
固定資産合計	499,898	751,613
資産合計	4,022,586	3,421,770
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	115,544	79,794
未払法人税等	419,838	—
その他	450,916	265,823
流動負債合計	986,299	345,618
固定負債		
資産除去債務	41,706	64,710
固定負債合計	41,706	64,710
負債合計	1,028,006	410,328
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	864,938	865,558
資本剰余金	863,938	864,558
利益剰余金	1,265,702	1,281,325
株主資本合計	2,994,580	3,011,441
純資産合計	2,994,580	3,011,441
負債純資産合計	4,022,586	3,421,770

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,849,519	4,824,388
売上原価	3,061,995	3,706,033
売上総利益	1,787,524	1,118,354
販売費及び一般管理費	741,748	823,856
営業利益	1,045,775	294,498
営業外収益		
受取利息	144	333
営業外収益合計	144	333
営業外費用		
為替差損	544	5,301
営業外費用合計	544	5,301
経常利益	1,045,376	289,531
特別損失		
固定資産除却損	-	1,788
減損損失	26,113	-
特別損失合計	26,113	1,788
税引前四半期純利益	1,019,262	287,742
法人税、住民税及び事業税	490,232	194,959
法人税等調整額	△99,392	△75,051
法人税等合計	390,840	119,907
四半期純利益	628,422	167,834

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ソーシャルアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。